

腹部超音波検査(造影剤使用)				S134	
				担当部署	
腹部造影エコー				生理	
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		同意書あり			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→生理→腹部エコー→腹部エコー(造影剤使用)			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		該当なし			
検査受付時間		8 : 45～17 : 30			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	人体	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
検体搬送条件		ベッド可能			
検体受入不可基準		検査に同意を得られない患者			
保管検体の保存期間		特記事項なし			
検査結果・報告					
検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部			
測定時間		各科による			

生物学的基準範囲		該当なし			
臨床判断値		該当なし			
基準値					単位
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし	特記事項なし
パニック値	高値	該当なし			
	低値	該当なし			
生理的変動要因		該当なし			
臨床的意義		B モードだけでは肝腫瘤や質的診断が困難な場合、造影剤を用いて検査を行なう。造影剤の成分はソナゾイドという微小気泡であり、身体に無害である。造影剤静注後、約 30 秒までに腫瘤性病変の血流診断を行ない、10 分後に肝全体を観察し、腫瘤性病変の有無を検索することができる。			